## 日本共產党

# 芦屋市議団

2019年 夏号

No. 211

発行•日本共産党芦屋市議会議員団

電話: 0797-38-2047(FAX兼) Eメール: a-jcp@pure.ne.jp



#### 主な記事

- ▶ 各議員の一般質問と 質問を終えての感想
- 伊藤新市長の所信表明を 聴いて
- 議案について(2件に反対)
- ▶ 提出された陳情について
- 市政まめ情報 (国保について)

### 初議会報告

選挙後初の定例議会となった令和元年(2019年)第2回定例議会では、伊藤新市長の所信表明が行われ、正副議長を除く19名の議員が質問に立ちました。日本共産党の3名も公約実現の立場からテーマを分担して質問に臨みました。



伊藤新市長の選挙公約にあった「公立幼稚園一園での3年保育実施」について、その実現の可能性や開始予定時期を質問しました。市長より「令和3年4月から一園で3年保育を試験的に実施する」との祭弁がありました。

今まで当局は、公立幼稚園での3年保育に後 ろ向きでしたが、一歩前進しました。

また、幼児教育無償化に間に合うように、 開始時期を早める事や、試験的に実施するなら例えば山手と浜の二園で実施してはと質問しましたが「保護者に対して丁寧な説明を行いたい。公立幼稚園・保育所の統廃合によって新たにできる認定こども園で3歳児の受け入れを同じ時期に開始し、比較したいため、まずは一園での実施となる」との答弁でした。

### 一般質問を終えて

日本共産党として、長い間要望してきた公立幼稚園での3年保育の実現が目前となりました。時期等については、やる気さえあれば早期の実現も可能だと考えます。

また今後の課題は、試験的に実施する 一園をどこにするのか、そして試験的に 行った後の見通しをどのように考えている のかです。引き続き注視していきます!!

#### その他の質問

- ●放課後児童クラブ(学童保育)の今後について
- 南芦屋浜の防潮堤について



「国民主権、基本的人権の尊重、平和主義を原則とする優れた憲法」「再び戦争の惨禍が起こらないよう、戦後70年余りの間、国民の意思によって守り続けられたもの」一憲法への市長の認識についての質問に母藤市長

は、前市長と同様の認識を示し、「議論」することについても「基本的に(現憲法を)堅持」の立場であることを表明しました。

憲法との関係で市政執行において特に意を 用いて進めようと考えていることについては、 「団体自治と住民自治の原理に基づき…行政 運営を行うこと」「具体的には…情報の速や かな公開と住民との対話を大切にする」と答 えました。

他に、国民健康保険料の負担軽減、こども医療無料制の拡充についても質問しました。

### 一般質問を終えて

憲法への対応が問われる政治情勢にあって、市長選挙や所信表明などでは表明のなかった憲法への市長の認識を質し、単に「遵守」ではなく「堅持」の姿勢を明確に表明されたことは良かったと思います。前市長の間に拡充された平和施策がさらに継続・発展することを期待します。

自治についても答弁で触れられましたが、それが前市長が残した問題点に向き合い、乗り越えるものとして展開されるのか、注意深く見ていきたいと思います。



伊藤新市長が誕生し所信表明もされ新しい 芦屋市がスタートしました。

市長には、「市民参画」についてどの様に捉 えてどのように芦屋市政を行うのかを問いました。 市長は 「ランチミーティング」や「タウンミー

ティング」を実施し、いっそうの対話を通して 市民と行政が地域の現状と課題を共有し共に 作り上げるまちづくりを継続、発展させる」と 答えました。

また「市民」の定義についても問い、自治 基本条例の制定を求めましたが、市長は「市 民は主権者である」と明確にされたものの、 自治基本条例の制定は否定されました。

安心安全なまちづくりを目指すようにと「コミュニティバスの運行」や「奥池住民への芦有道路の通行費補助」「43号打出交差点のエレベーター設置について」等、交通政策についても取り上げました。

#### 一般質問を終えて

質問通告が所信表明を伺う前だったので、もっと具体的に問いたい気持ちでの質問でした。道路交通整備がまちづくりの基本の一つであるならば、市民が安心安全に暮らすために交通政策についても市民と合意形成のもと進めなければなりません。

市長がこれから「市民を主役」においた 市政運営をどの様に進めていくのか注視し ていきたいと思いました。



議員提出議案第1号「精神障がい者に対する公共交通 機関の運賃割引の適用を求める決議」

### 全会一致で決議しました

鉄道やバスなど公共交通機関において運賃割引制度を設け、障がい 者の経済的負担の軽減を図っていますが、精神障がい者を対象にする ものが極めて少なく、身体障がい者や知的障がい者と同様の軽減が求められてきました。今議会の一般質問でひろせ久美子議員とともに他 党派の議員も取り上げたことから全会派に呼びかけ実現しました。

2019年6月26日には衆参両院の国土交通委員会で「精神障碍者の 交通に関する請願」も採択されており、これを機に障がい者の方々の 自立及び社会参加の支援につながる施策が実現することを期待します。

### 伊藤新市長が所信表明

### 「市民が主役のまちづくり」 - "時に痛みを伴う施策も

6月21日から始まった初議会の本会議で伊藤市長が所 信表明を行い、「『市民が主役のまちづくり』を念頭に、 常にチャレンジ精神を持って、既成概念に囚われず、時に 痛みを伴う施策も毅然かつしなやかに取り組み、『開かれ た市政』を目指して」いくと述べられました。

具体的な策として「タウンミーティング」「ランチミーティ ング」などを開き、情報をオープンにし、幅広く対話する 仕組みづくりをするとのことで、さっそくJR芦屋駅南地区 再開発についてのタウンミーティングが7月に開かれました。 当日市民から出された意見を踏まえて2回目も開くとのこと です。

JR南再開発は総額200億円を超える巨額を投資する事 業ですが、このような巨大事業を進める一方で、「痛みを 伴う施策も…」と市長が述べたことが市民サービスの低下 や負担強化を念頭にしているのか懸念されるところです。

「公共事業」への財政投入が市民生活にしわよせが行 かないように、市民の暮らし優先の市政運営を求めるとと

もに、まちづくりが行政主導ではなく 真に「市民が主役」で行われるように、 合意形成を大切に進めていくことを 伊藤市長に望むものです。

(幹事長 ひろせ久美子



### 沖縄•辺野古沖





### 米軍基地建設めぐる陳情

### 打ち切り」に

初議会では、沖縄・辺野古沖への米軍基地建設について反対 2件と推進1件の陳情が出され、総務常任委員会(ひろせ久美 子委員長)でいずれも「結論を得ず、審査打ち切り」となりま した。知事選をはじめとする度々の選挙や今年2月にあった住 民投票でも、「反対」の県民の意思は明確に示されているにも かかわらず、自治を踏みにじって基地建設を強行する安倍自公 政権への批判が広がっています。審査では「安保条約を結んで いて基地提供は日本の責任。米国は日本を守る役割をもってい る。」(松木議員)と推進賛成の発言もありましたが、「責任を 負えない」「情報量少なく軽率な判断はしにくい」などの意見が 多数で審査を打ち切りました。

### 2件の議案に反対

初議会では、市長から精道中学校建替工事契約や消費税増税に対応 する介護保険料の一部負担軽減など18件の議案が出され、日本共産党 はその内の2件について反対しました。



### 新浜保育所と伊勢幼稚園を 廃園・廃所するための条例改正

公立幼稚園・保育所の統廃合・民営化の一環である本議案は、芦屋市 が掲げる「子ども子育て新制度」に照らし合わせても矛盾するという指 摘をし、反対の立場で川島あゆみ議員が討論しました。

二園が廃園・廃所され、西蔵こども園を開園しても定員は増えず、待 機児童の多くを占める0歳から2歳の子ども達の定員は変わりません。 当局からも、「待機児童は市内に新設される民間の認定こども園等の

"民間の力"で解消する」との答弁がありました。ま た、子ども達の保育の質の向上という観点からの議 論はなされておらず、先行している精道こども園の 一部保護者からは「幼稚園の良さが引き継がれてお らず保育所寄りだ」という声も上がっています。



### 第47号 議案

### 保育所費のシステム運営経費と プレミアム付き商品券事業等の補正予算

システム改修費は、10月からの幼児教育無償化に伴い、認可外園等の 保護者の情報を管理するための予算です。無償化そのものは否定しませ んが、今回の消費税増税に伴う無償化は、芦屋市が監査を行う権限がな く、保育士配置の基準等が緩和されている無認可園も含まれることで、 結果的に保育の質に関係なく公費が支出されることになり、公的保育の 後退が懸念されます。公立・認可保育所の増設こそ必要です。

また プレミアル付き商品巻け 消費税増税を目載した暑気対策と言

いながら、単なるばらまきであり、一回限りでその場しのぎの施策にす ぎません。反対討論には平野議員が立ちました。



### 傍聴した市民からも疑問の声…

### 9条ステッカーは「不適切」と市が答弁

市役所内にある市職員労働組合の事務所ドアに「LOVE9 憲法9条でいこう」とのステッカーが貼ってあったことに ついて、「市当局が見過ごしていたことは看過できない」と 自民党の川上議員が質問。これに対して市の担当部長がス テッカーは「政治的意味合いがあり不適切」と答弁。公務 員は就職に際して「憲法を遵守する」と宣誓することになっ ています。「どうして9条だけは守ったらアカンの?」との市 民の疑問の声は当然です。



### 日本共産党芦屋市議会議員団の 役割分担と議会関係役職

- **平野貞雄**/団長·副幹事長·建設公営 企業常任委員·政治倫理審査会副会長 ■ひろせ久美子/幹事長・総務常任委 員長·議会運営委員·都市計画審議会
- ■川島あゆみ/会計・民生文教常任委 員·議会報編集委員

委員



2019年8月21日(水) 午後6時~ 芦屋市民センター208室

濱本由弁護士(あいおい法律事務所)と市会議員が ご相談をお受けします。当日の受付は19時までです。 TEL·FAX (38)2047 [市議団]



2019年8月31日(土) 午前10時~ 芦屋市民センター403室

6月議会の報告と9月議会の議案説明 ご意見ご要望をお聞かせ下さい

### 市政まめ情報

### 国保料は据え置き… それでも阪神間2番目の高さ

芦屋市は今年度の国民健康保険料を前年度 の料率(応能割の率・応益割の額)に据え置く ことを各加入世帯に通知しました。県に一元化 されて各地で保険料が引き上げられているだけ

に、「ホッとした」との市民の声が出ています。 保険料の前提となる市内の総医療費の伸びや 保険料の上限額の引き上げによる保険料収入 の増などの据え置きの条件がそろったことが大 きな要因ですが、それでもモデル世帯で比較す ると、阪神7市では上から2番目の高さです(別 表参照)。

共産党として質問でもとりあげた保険料負担 の軽減は切実です。

#### 年収300万円で 4人世帯の場合の 国民健康保険料 (年間保険料)

- ●夫40歳代 給与収入300万円
- ●妻40歳代 収入0円 と子ども2人

宝塚市	38万9,400円
芦屋市	36万5,040円
伊丹市	35万8,600円
尼崎市	35万8,415円
川西市	35万5,400円
西宮市	35万2,845円
三田市	34万2,100円